

浜田圏域(農業)プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成24年度)

達成状況判断基準: 100%以上→「達成」、80%以上100%未満→「概ね達成」、80%未満→「未達成」

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率					達成状況
			項目名	H24目標	H24実績	単位	達成率	
共地 -2	鳥獣被害対策の推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛可能集落育成について 江津市においてモデル集落整備を実施し、浜田市においてもモデル地区整備に向けた活動を行った。特に浜田市のモデル地区では、WWF(世界自然保護基金)と連携し整備計画を策定することとなった。 指導マニュアルについては、原案が策定されたので、来年度、作成作業を進める。 ・有害鳥獣密度の低減について 狩猟免許者が高齢化により減少しているため、今後新規取得者の増加に向けて、講習会や広報活動の充実が必要である。 弥栄・三隅合同の加工施設整備構想が作成されたので、具体的な整備計画の策定を支援していく。 	モデル集落数	1	3	集落	300%	達成
			狩猟免許所持者数	525	521	人	99%	概ね達成
浜田 -1	サポート経営体を核とした地域を支えるしくみづくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・旭町で新たなサポート経営体「株式会社サンファームみのり」が設立された。 ・旭町と三隅町では、サポート経営体のカバー候補集落において、5年後の農地管理予測(地図化)を話し合い、農地保全(サポート経営体へ農地集積を図る)体制づくりの基礎が構築された。 ・今後、話し合いを進める集落もあることから、先行している集落をあわせて計画的な活動が必要である。 	サポート経営体数	3	3	経営体	100%	達成
			サポート経営体カバー集落数	4	0	集落	0%	未達成
浜田 -2	産直市を核とした絆づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・産直市4店舗のPOSデータを解析することにより、これまでの販売実績を把握することができ、継続的なPOSデータ解析を行うことの重要性を認識した。また、解析したPOSデータを基に、育成会員の選定や各推進項目における重点品目の選定を行うことができた。 ・定期的な産直市責任者(店長)との合同会議は、目標達成に向けて、メンバーだけでなく、産直市店舗関係者との意識統一ができた。 ・重点品目作付の実証ほ及び学校給食供給用試験ほの設置・運営(巡回指導)により、産直市への出荷量及び学校給食用食材の供給量が増加した。 ・各店舗毎に消費者モニターを設置し、設置要領に基づいた活動(消費者アンケート、消費者モニターと産直会員との交流会及びモニター会議)を行い、消費者からの要望等を把握することができた。 ・食育活動として、生産農場及び学校において、小中学生と生産者との交流会を開催した。 	産直総売上高	26,764	27,324	万円	102%	達成
			設置支部数	4	3	カ所	75%	未達成
			消費者モニター設置数(延べ)	40	40	人	100%	達成
浜田 -3	西条柿産地再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・販売数量は大きく伸びたが、単価安のため販売額は伸び悩んだ。 ・関係機関が連携し(国)かんすい事業の導入が実現した。 ・選果場・予冷库・加工場の一体整備について生産者の同意を得ることができ、建設に向け協議を開始した。 ・産地の現状把握について関係機関が連携して実施し、サポート体制推進に向け現実的な課題(受け手側の意識)を確認した。 ・軟果対策について試験(一部実施)から全量実施に切り替え、本格実施を1年前倒した。 	西条柿販売量	133	202	t	152%	達成
			西条柿等販売額(生果、干し柿)	54,830	52,967	千円	97%	概ね達成